

氏 名：曾根 晶子
学位の種類：博士（看護学）
学位記番号：甲第 236 号
学位授与年月日：2023 年 9 月 19 日
学位授与の要件：学位規則第 5 条第 1 項該当
論文審査委員：主査 八重 ゆかり（聖路加国際大学教授）
副査 麻原 きよみ（聖路加国際大学教授）
副査 林 直子（聖路加国際大学教授）
副査 清水 安子（大阪大学大学院教授）

論文題目：糖尿病をもつ利用者にフットケアを行う訪問看護師向け教育プログラムの開発と評価

博士論文審査結果

審査における主な指摘は以下であった。

- 1) フットケア教育プログラムのどの部分が訪問看護師用なのかを、オリジナリティがどこにあるのか明確に分かる内容と記述を行う。
- 2) 開発・評価したフットケア教育プログラムを、今後どのように具体的に普及させていくのかを考察に追記する。
- 3) 考察全体の記述が結果の繰り返しの表現になっている。この教育プログラムの特徴は何か、何を重点に置いたのか、また本研究の結果がなぜ得られたと考えるのかなど、結果の繰り返しではなく、結果に対する考察を書く。
- 4) 脱落者 28 人、追跡率 52.8%、と脱落が多くなった理由を考察に記述する。たとえば、訪問看護師にとって教育プログラム受講が負担だった結果なのではないか、またコロナ禍の状況下でどのような事情が発生した結果として脱落が起こったのかなど、考察する。
- 5) 研究デザインが無作為化比較試験なので、結果は CONSORT 声明に準拠した形で記述すること。
- 6) サンプルサイズ計算のところに、フットケア知識・技術テスト案の作成と実施が書かれているが、これは評価指標として作成したものであるので、予備研究 III の章を設け、「知識・技術テスト」作成の過程とその結果（作成したもの）、およびそれを用いて行ったプレテストの結果を示す。
- 7) 分析方法の記述と、実際の分析結果とが不一致の部分があるので整合性をもたせる。
- 8) 統計学的検定手法がカイニ乗検定ではなくフィッシャーの正確確率検定を用いたと思われる P 値が散見されるので、検定手法について再確認する。

以上の指摘に対して、適切な修正がなされたことを主査、副査で確認した。

本研究で開発・評価した、糖尿病患者へのフットケアを提供する訪問看護師向け教育プログラムが臨床現場に導入されることにより、訪問看護における糖尿病ケアの向上が期待される。本研究は、訪問看護の分野に重要な知見をもたらし、またその発展に寄与する重要な研究であると高く評価された。

以上により、本論文は、本学学位規程第5条に定める博士（看護学）の学位を授与することに値するものであり、申請者は看護学における研究活動を自立して行うことに必要な高度な研究能力と豊かな学識を有すると認め、論文審査ならびに最終試験に合格と判定する。